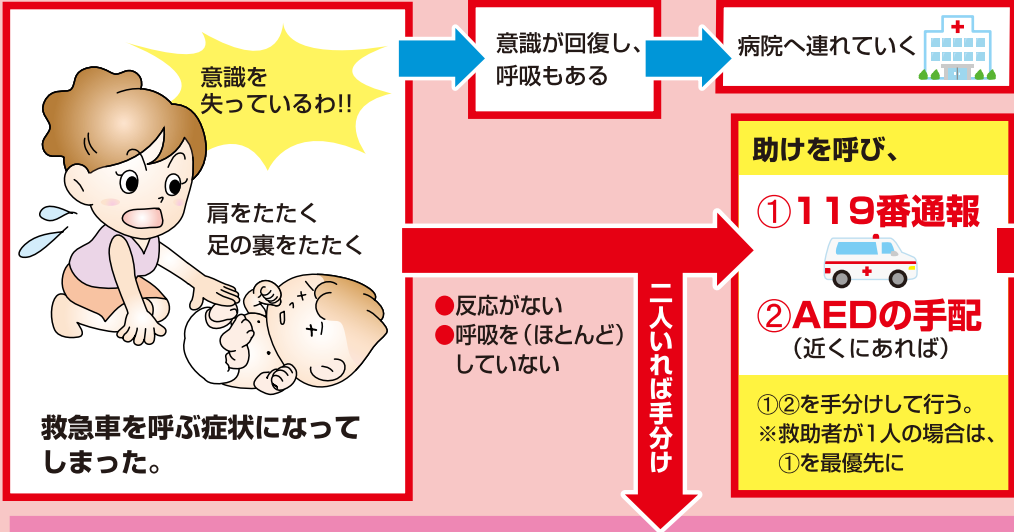


●人工呼吸・心臓マッサージ(胸骨圧迫)



ポイント

- 119番司令室の指示に従って、落ち着いて対処。
- 人工呼吸ができない場合は、心臓マッサージを続ける。
- 心臓マッサージは、押す場所、テンポ、深さが大切。
- 途中でやめない！救急隊が着くまで、または呼吸や仕草が回復するまで続ける。
- 二人いれば、交代しながら続ける。

心肺蘇生法(CPR)

(心臓マッサージ30回と人工呼吸2回の繰り返し)

乳児 (1歳未満)

乳首を結んだ線の中央から足側にむけて人差し指～薬指を並べる。人差し指、中指で圧迫。

① 1分間に100回以上のテンポ、深さは約4cmで、30回の心臓マッサージを行う。

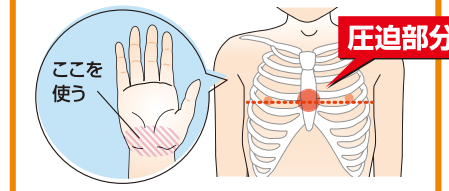
② 口と鼻を大人の口でおおい、1秒かけて2回の人工呼吸。

この組み合わせを、くり返す。



くり返し続ける

小児 (1歳～)



乳首を結んだ線の中央か、やや下を、両手の手のひらの付け根で圧迫する。

くり返し続ける

※人工呼吸・心臓マッサージの方法については、最寄りの消防署、保健福祉事務所、市町村保健センター、日本赤十字社群馬県支部にお問い合わせください。